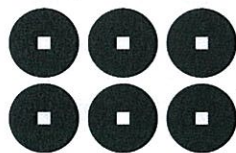


真田地域観光戦略プラン

(平成 24 年度～28 年度)



真田地域観光戦略プラン策定委員会

平成 年 月 作成

真田地域観光戦略プラン

真田地域観光戦略プラン策定委員会 委員名簿

役 職	氏 名	所属出身団体等
委 員 長	堀内 昭一	大松農園
副委員長	宮島 国彦	真田町商工会
委 員	青木 正知	真田町造園業協会
委 員	飯島 美智子	真田三代ヒストリー プロジェクト
委 員	飯塚 義隆	(有)飯塚食品 さなだスポーツクラブ
委 員	木島 徳行	真田町建設業協会
委 員	坂口 久美子	さなだ共同参画 ネットワーク
委 員	清水 裕人	真田町商工会
委 員	鈴木 チヅル	真田町商工会
委 員	花岡 静枝	らいてうの家
委 員	堀内 幸孝	真田町商工会 幸村街道会
委 員	若林 正徳	真田町商工会 信州真田鉄砲隊

観光戦略プラン策定の目的

旧真田町地域の観光の特色は、菅平高原とそれ以外の地域（以下、「真田地域」という。）とに分けることができます。

菅平高原は上信越高原国立公園に属し、ラグビーをはじめ、サッカー、テニスなどスポーツのメッカとして知られ、夏の平均気温は19.6℃で雨も少なく避暑地として大変さわやかな別天地です。また冬は見渡す限りの銀世界となり良質の粉雪は多くのスキーヤーを魅了します。雄大な自然に包まれ、アクティブなスポーツや多彩な高原ライフをお楽しみいただけます。

真田地域は言わずと知れた全国に多くのファンを有する真田幸村公をはじめとする真田三代発祥の郷という他地域に比類なき観光資源を有しております。

しかし、その観光資源を存分に活かしていないのが現状です。問題点としてハード面においては、真田三代の関連の施設はエリア内に点在し、それぞれの施設への移動手段が乏しいこと、さらに、トイレや散策道、案内板等の整備も乏しく来訪者に優しいとはいえないものがあります。ソフト面においては、地域を知っているはずの地元の人が、自信を持って自分の地域を紹介できる人が少ない、ボランティアガイド等の組織化もできていない、等々の課題があります。

また、観光における大きな誘客要因である食＝グルメにおいても真田地域における独自性を発揮できていない現状もあります。

そこで真田地域観光戦略プラン策定委員会では、主にこれら真田地域の現状・課題を見直し、改めて資源をブラッシュアップすることで、これからの観光振興施策を検討してまいりました。

この真田地域観光戦略プランは真田地域が有する観光資源とそれを活用できていない現状・課題の中で、実践可能なプランを絞り込み、具体的な戦略・施策を策定し、24年度から5年間で優先順位を設定し計画的に実践していくことが重要だと考えます。

「真田三代発祥の郷」として真田地域の歴史、文化、伝統及び自然など恵まれた観光資源と真田地域農業戦略プランにより強化される食を融合し、真田地域の特色を活かした観光振興施策を具体的に実践することで、菅平高原を含めた真田を持続的に活性化することを観光戦略プランの策定の目的とします。



観光戦略プランの3つの柱

1 「真田三代発祥の郷」が観えるまちづくりを推進します。

2 真田の食文化の確立を目指します。

3 情報受発信システムを活用したPRを推進します。

基本戦略1 「真田三代発祥の郷」が観えるまちづくりを推進します。

- 自家用車、または公共交通機関とどちらでも真田地域を訪れる観光客が迷わず点在する真田三代の観光資源を巡れるよう環境の整備を実施します。
- 効果及び実現可能性の高い観光資源の整備を実施します。
- 語り部講座の参加者へ活躍の場を提供することにより、レベルの高い語り部の育成を図ります。
- 健康志向、ウォーキング・ランニングブーム及び歴史ブームについて総合的に満たすことが出来る山城について研究をはじめます。

基本施策1 真田三代の観光財産を活かすための環境づくり

真田地域に存在する真田三代の観光資源は様々な要因から最優先で活かしていくべきものであり、それが価値を発揮することによってその他の観光資源が生きてくることは自明の理です。しかし、大規模事業が困難であることを鑑み、できるだけ実現可能性の高い次の7施策を実施することで良質な環境づくりを早期に実現します。

- **具体的な施策** ※農：農業戦略プランと連携施策です。
- ① ゆきむら夢工房の観光拠点施設強化整備への早急な取組 農
- ② 優しく見せる「真田三代発祥の郷」周遊コースの設定及びマップ作成
- ③ 周遊コースと連動した「道標＝観光案内看板」の整備
- ④ 整備をすれば生きてくる真田三代の観光資源（安智羅様など）及び周辺の整備の実施

真田地域観光戦略プラン

- ⑤ トップシーズン（4月～10月）を中心とした観光交通の整備（路線バスとの提携、周遊バスの運行、電動アシストサイクル増車など）
- ⑥ ホスピタリティーレベルの高い語り部の育成
- ⑦ 山城トレッキングなどの研究・整備

基本戦略2 真田の食文化の確立を目指します。

- 真田地域農業戦略プランと連携し、真田地域内でそばの6次産業化を実現することで「そばの郷真田」を目指します。（誘引戦略）
- 真田地域農業戦略プランと連携し、地域の特性を活かした農産物をPRし、誘客と販売促進を図ります。（周知戦略）
- ゆきむら夢工房を中心とした加工体験及び農業体験ができる観光地づくりを推進します。（誘引戦略）

基本施策2 真田産農産物を活用した観光誘客の仕組みづくり

観光戦略に食文化は不可欠であり、地産地消の推進安全・安心な地元農産物を活用することが必要であります。そして、この地域は昔からそばの食文化が伝承されており、この伝統を守り、それを観光に活かせるそばの郷として全国に名声を上げてまいります。

- **具体的な施策** ※農：農業戦略プランと連携施策です。
 - ① 地元のそば屋への真田産そば粉の提供を行い、地粉によるそばの提供のできるそばの郷を目指します。 農
 - ② 幹線道路及び周遊コース沿線への景観作物（そば）植栽 農
 - ③ 真田三代発祥の郷の味マップの作成 農
 - ④ 良質な真田産農産物の販売組織の育成・充実・支援 農
 - ⑤ りんご及び米を中心とした農業体験や加工体験受入組織の育成・充実・支援 農
 - ⑥ 加工商品の研究・開発 農

基本戦略3 情報受発信システムを活用したPRを推進します。

- 求められている情報を正確かつ迅速に発信するとともに、情報を収集し、コミュニケーションを図ります。
- 多様な情報網を利用し、全国、さらには世界へ魅力を発信します。
- 情報内容や受発信のあり方を研究します。

基本施策3 情報の受発信の仕組みづくり

真田にある他地域に比類ない観光資源などを多くの方々に知っていただくため、また、意見をお聞きするため、最適な情報受発信システムのあり方を研究してまいります。

また、誰もが視覚及び聴覚で認識できるような独自のブランドを構築し、それを活用した情報発信を実践していきます。

- **具体的な施策** ※農：農業戦略プランと連携施策です。
 - ① 最適な情報受発信システムの構築
 - ② ゆきむら夢工房を活用した情報受発信基地の整備 農
 - ③ ITなどを活用した情報受発信方法の検討
 - ④ 真田三代ブランド（※1）の研究・開発 農

※1 「真田三代ブランド」：真田地域が誇る魅力ある素材「人、歴史、文化、伝統、水や森林といった自然環境、食」などの全てを指し、「信州上田市真田のブランド」として県内外に発信し、特産品の販売販路拡大や交流人口の増加などに繋げるにより、産業全体の底上げを図ります。



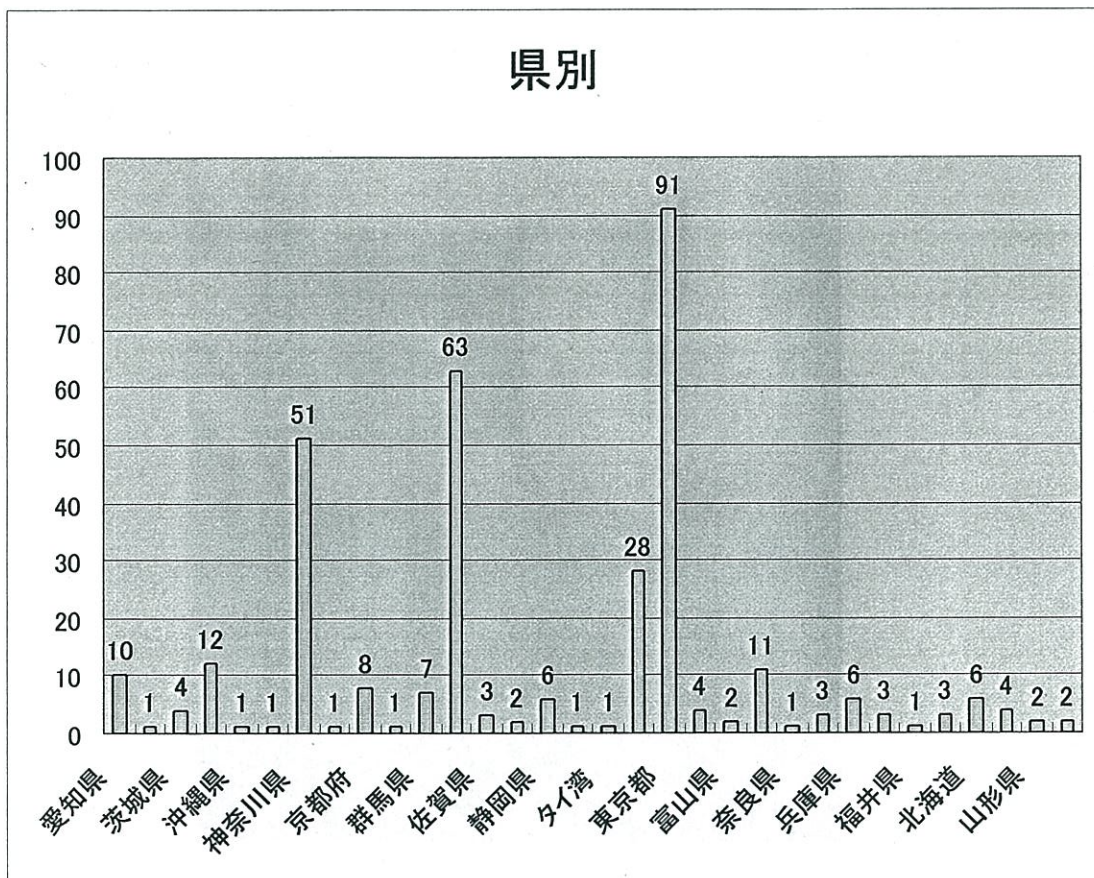
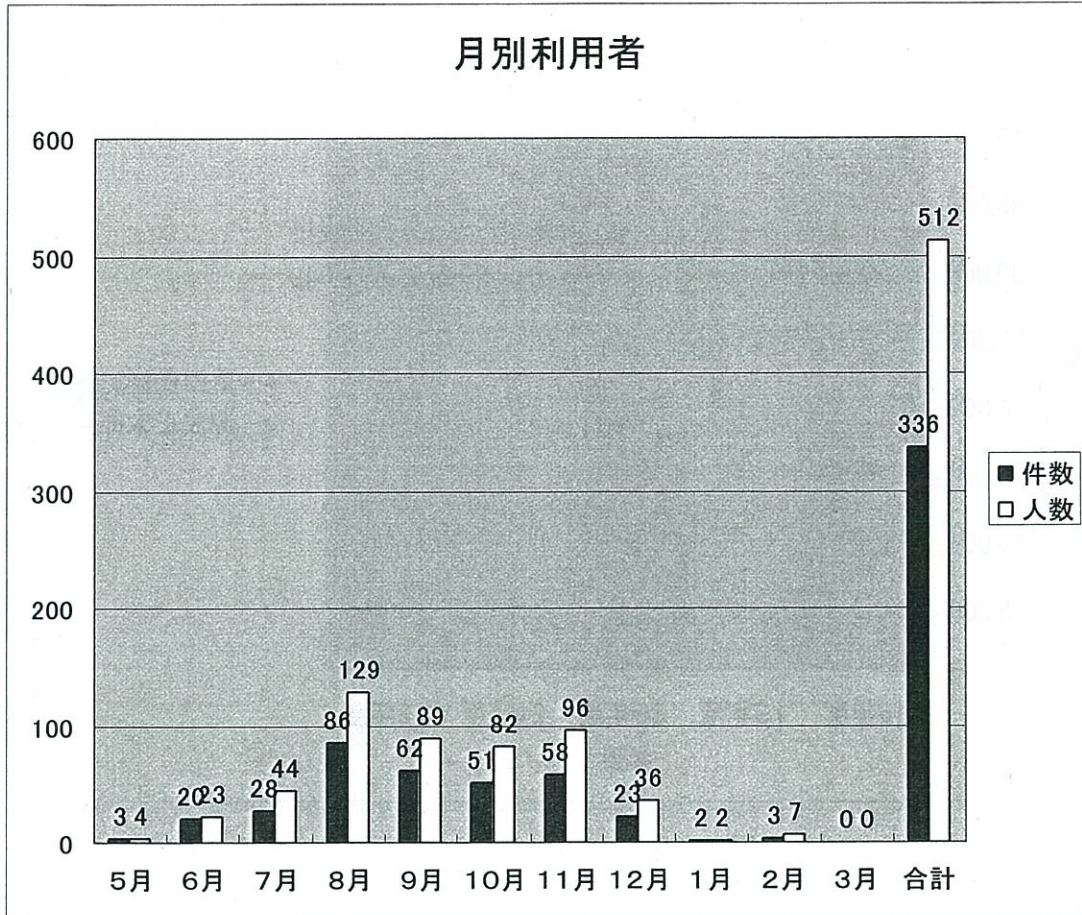
資 料 編

真田地域観光戦略プラン

戦略プランスケジュール

基本戦略	施策・年度	24	25	26	27	28	備考
「真田三代発祥の郷」が観えるまちづくり	ゆきむら夢工房の観光拠点施設強化整備	→					
	周遊コースの設定及びマップ作成	→					
	観光案内看板の整備	→					
	観光資源及び周辺の整備	→					
	観光交通の整備	→					
	語り部の育成	→					
	山城トレッキングなどの研究・整備	→					
真田の食文化の確立	真田産そば粉の提供	→					
	景観作物の植栽	→					
	真田三代発祥の郷の味マップ作成	→					
	農産物の販売組織の育成・充実・支援			→			
	体験受入組織の育成・充実・支援			→			
	加工食品の研究・開発		→				
情報受発信システムを 活用したPR	情報受発信システムの構築	→					
	情報受発信基地の整備		→				
	情報受発信方法の検討	→					
	真田三代ブランドの研究・開発			→			

電動アシストレンタサイクル利用実績（平成22年度）



入館者数の増減

